

## 「平成 23 年度に団体間で協働して取り組む事業のテーマ（案）」について

団体名	番号	テーマ（案）	提案理由	分野
宮城県商 工会議所 連合会	①	ア 農商工連携による新たなモデル事業の創出	・日本有数の水産県の強みを生かし、水産関連業も取り込んだ農商工連携による新たなマッチングモデル創出により、地域経済の活性化に資する。	農商工連携
	②	イ 海外インバウンドを促す受入体制の強化	・羽田空港滑走路拡張整備終了（10 月）に伴う訪日外国人の増加や東北新幹線青森開業（12 月）による首都圏からのアクセス利便性向上、香港便就航の動きなど、訪日外国人の来県環境が整いつつあることから、受入体制強化に取り組み、本県への海外インバウンドの促進に資する。	観光
宮城県商 工会連合 会	③	ア 宮城県ブランド化の推進（観光における宮城県の認知度向上）	・宮城県は、東北の核となる県であるが、仙台のイメージが全国的なこともあり、県としての認知度があまり高くない。ブランド総合研究所「地域ブランド調査 2009」によると、宮城県は、都道府県魅力度ランキング 16 位で静岡県 12 位、千葉県 14 位、青森県 15 位より下位にある。こうしたことから「宮城県のブランド化」を進め認知度のアップ、来県者の増加、宮城県産品の販路拡大に資する。 ・DC への再チャレンジ ・宮城県ならではの体験型観光振興 ・産業視察、コンベンションによる来県者増 ・県民各層で「宮城」をアピールする取組	観光
宮城県観 光誘致協 議会	④	ア 産学官連携による観光振興	・東北観光推進機構との連携を含めて、新幹線青森延伸・平泉世界遺産登録など、今後の東北の機軸をいかに宮城県と連動させるかについて、東北の中心として観光振興に関し検討・整備する場を設置する必要があるため。	観光
東北学院 大学	⑤	ア 産学連携の強化	・今年度を実施する「大学と企業とのマッチング」をさらに強化するため、連携協力大学に産学連携コーディネーターを配置し、事前に取りまとめられた大学のシーズと企業のニーズをもとに、大学と企業との円滑な連携を図る。それにより、大学で使用する実験器具等を県内企業からより多く調達できる仕組みを構築する。	大学と企業との マッチング
(社)宮城県 建設業協 会	⑥	ア 林建共働の取り組み	・宮城県では、5,600haの間伐目標を掲げ、さらなる森林整備の推進に取り組むものと想定されるが、実施体制は、林業就業者の高齢化や後継者不足等から十分とは言えない状況。一方、本県建設業では、受注の大幅減少、経営環境悪化等から、保有機械の稼働率低下や機械の保有、オペレーター、作業員の雇用維持が困難な状況。 このような状況で、従来水準以上の間伐を進める上で必要な路網整備は、地域材の有効利用のほか、人手不足を補うための機械化推進や計画的な森林整備の実施に繋がる有効な手段であり、建設業の有する人材、資材等の活用が可能な分野と考えられ、建設業と林業（森林組合等）の連携を図り、双方のノウハウ、メリットを活かした事業展開が必要である。	林業

【参考】

平成 22 年度	テーマ	観 光	ポートセールス	大学と企業とのマッチング
	事業名	産業観光推進事業	仙台港プロモーション事業	大学等ニーズ活用産学連携推進事業 (大学等ニーズ活用マッチング支援事業)
	目的	(平成21年度事業の継続)	仙台港を利用したモダリティによるコスト低減効果や輸送工程を映像化した新たなセールツールを構築するとともに、関係団体と協働化したポートセール活動を展開し、仙台港への貨物集荷等の利用促進、輸送コスト削減、地域経済活性化を図る。	県内大学等のニーズを県内企業の技術力で解決することを通じ、企業を大学等に知っていただく(知産地消)とともに、企業の技術力向上に結びつく新たな産学連携モデル構築を目指す。
	事業費	2,500千円	2,610千円	非予算的手法による事業実施
平成 21 年度	テーマ	人材確保・育成		観 光
	事業名	みやぎものづくり企業魅力発信支援事業		産業観光推進事業
	目的	ものづくりを支える県内団体が協働し、大学生や高校生が進路を選択する際に関心の高い、企業の事業内容や福利厚生などの情報を提供し、県内就職を促進させるとともに、優秀な人材の確保を図る。		第一次産業から第三次産業までの産業体験学習メニューの掘り起こしや、これらを活用した教育旅行や体験旅行の商品化と人材育成を含む受入体制の整備などを進めることにより、観光地としての魅力を高め、観光客の増加を図る。
	実績	①「みやぎものづくり企業ガイドブック」(75社掲載・5,000部)の作成・活用 ②工場見学会(7コース,132人参加)や「ものづくり企業セミナー」(4回,430人参加)の開催		①宮城県教育旅行ガイドブック「みやぎ産業体験学習」の作成・活用(旅行会社や学校等延べ826団体で提供) ②みやぎ産業観光カレッジ(58人参加)の開催 ③受入団体が実施する研修会支援(5回,約150人参加)
事業費	(当初)2,500千円		(当初)2,500千円	
平成 20 年度	テーマ	人材育成		観 光
	事業名	ものづくり・ひとづくりモデル事業		美味し国～米・味噌・純米酒～宮城の観光振興事業
	目的	次代を担う経営幹部の人材育成、人的ネットワーク形成、技術の高度化、特定産業参入を目的とした実践的研修等を実施し、ものづくり産業の競争力の強化を図る。		「食材王国みやぎ」と「観光王国みやぎ」を結びつけ、一次、二次、三次が連携し、DCを見据えた「米・味噌・純米酒」をテーマとした旅行商品造成・販売により集客力向上に資する。
	実績	①技術市場交流プラザ「フロネシス21」を委託により実施 ②半導体関連産業を中心に41人参加、技術経営セミナー等開催		①旅行商品の造成支援 ②販売実績 利用者12,676人 販売額165,212千円
事業費	(当初)2,000千円		(当初)3,000千円	